



「チャットGPT」とどう向き合うか。

5月に入り、遠足やゴールデンウィーク等、子ども達だけでなく大人もウキウキする行事や祝祭日が続いてくる。子ども達も学校生活に慣れ、いろいろな教育活動を通して、当該学年としての自覚も少しずつ芽生え始めた頃ではないだろうか。教育研究所に在ると、ICT関連の新しい言葉が、どんどん出てくる。今回、今、世間で注目を集めているAI、「チャットGPT」について私見を述べてみたい。

まず、「チャットGPT」とは何かという点、AI技術を活用した自動会話プログラムのことである。私がこれに出会ったのは、今年の2月に、ある議員から「学校でもチャットGPTを使っているのか」という内容の質問を受けたことがきっかけである。当時の所員は誰も知らなかった。試しに使ってみると、数秒できれいな文書を打ち出してくれることに、驚きであった。同時に、業務上のいろいろな場面で利用できそうだと感想を持ったことを覚えている。あれから約3ヶ月も経たないうちに多くの人々に、「チャットGPT」が認知されるようになっていく。このスピード感に更に驚いている。

新しい技術が登場すると、必ず出てくるのが、メリットとデメリットについてである。第1回校長連絡協議会の教育長あいさつの中で、教育長から、「あいさつ文作成に使ってみて便利だがいろいろ違和感のあるあいさつ文ができた。自分ならこの言葉は何回も使わない。利用に当たっては違和感を持てるかが大事ではないか」との話があった。私自身も利用者が「違和感を持てるかどうか」が大きなポイントであると思う。「チャットGPT」は、会話をしたり、質問に答えてもらったり、問題の作成、文書の作成等、利用方法は様々だが、完璧ではないということである。インターネット上のいろいろな情報を集めて、利用者のプロンプト(指令)に回答する。デメリットとして、利用者が違和感を持たずに、「チャットGPT」の回答を信じ込むことは、不正確な情報が出回る可能性があるため危険である。他に、チャットGPT依存の心配、人権を知らないうちに侵害しているなどが考えられる。しかし、回答は正確ではないとの認識を持って利用できれば、先生方の校務を支援するツールの一つになり得るもので、学校にとっても大きなメリットに繋がると考える。例えば、保護者向けおたより案、各教科の問題案の作成など、具体的なプロンプトを行うことで、利用者のイメージに近い文章などを提案してくれるだろう。実際にICT教育情報推進部会の実践事例においても、教師が、道徳科の授業で活用した事例が報告されている。

では、「チャットGPT」の利用は、子ども達の教育上必要か否かという話になる。近い未来、子ども達が、社会に出て行ったとき、「チャットGPT」がなくなっているとは考えにくい。今より洗練された「チャットGPT」に成長し、スマホのように、誰もが利用しているツールの一つになっていると考えるのが普通であろう。そのように考えたときに、「デメリットだけを考えると、子ども達に利用を禁止するのは、得策ではない」と考える。今の携帯やスマホが登場したときはどうだったであろうか。いろんな危険性から、子どもに持たせない方がよいとの意見が多かったように思う。では、現在はどうであろうか。多くの子ども達は、利用した事があるのではないかと。ここで誤解のないように、スマホ関連の課題もまだまだあることと、私が子ども達のスマホ利用を推奨しているわけではないことを確認しておく。ただ、「チャットGPT」の課題については、スマホの課題と似ており、子ども達の利用には、「チャットGPTは完璧ではない」ことを根底に於いて、利用に関するモラルを含めたルールを早急に整理する必要があると考える。「チャットGPT」は、子ども達の学びを支えるツールになり得るシステムでもあり、ルールを遵守した形での利用ができればと考えている。文科省でも、チャットGPT利用に関する指針を出すとの情報もあるが、当教育研究所も望ましい利用について、これからも考えていきたい。

令和5年度 第120期教育研究員



4/12 講師:セルフコンフィデンス沖縄 吉田文子 氏
講座「コミュニケーションスキル」の様子

2(火)	所内講座④
16(火)	中間検討会 I
18(木)	研修② 研究のすすめⅡ

教育研究員は各自の研究テーマを設定して、研究を進めているところです。また、半年で12回の所内講座を実施し、資質能力の向上につとめています。

5月 研究所事業予定

8(月)	研究主任研修会	中央公民館
10(水)	中堅教諭等資質向上研修会②	オンライン
11(木)	初任者研修③	中央公民館
12(金)	情報教育研修会①	オンライン
15(月)	教職5年目研修①	オンライン
17(水)	中堅教諭等資質向上研修会③	中央公民館
18(木)	教職3年目研修①	オンライン
22(月)	特別活動主任研修会	中央公民館
25(木)	初任者研修④特活示範授業	オンデマンド
30(火)	ICT 情報教育推進部会(発足式)	研究所会議室

ICTを活用した授業実践例

【那覇市 ICT 教育推進部会実践事例サイト】では、たくさんの実践事例を紹介しています。授業活用でのヒントが見つかると思います。

また、他校へ紹介できる事例も募集しております。是非、教育研究所までご連絡ください。



研究所図書室の紹介

那覇市立教育研究所の図書室には毎月10冊程度の新刊が入ってきます。図書搬送システムを利用した貸し出しもできます。詳しくは学校図書司書へ。

研究所蔵書の一部は、下記 URL または右記 QR コードから確認ができます。<https://booklog.jp/users/nahaken2016>

